

学校支援ボランティアだより



放課後子供教室編

本事業は、学校の余裕教室等を活用して、地域の多様な方々の参画を得て、子供たちとともに学習やスポーツ・文化活動等の取組を支援しています。具体的な活動内容は地域によって様々ですが、子供たちが「ワクワク、ドキドキ」する放課後活動を、応援しています。

学校を活用

子供も保護者も、みんな安心

- 場所を変えることなく活動に入れるので、安心・安全です。
- 学校は、多種多様の設備が整っていますから、活動プログラムが充実します。
- 誰でも参加できるので、友だちと一緒に放課後を過ごすことができます。
- 子供の様子をスタッフ、教員で共有しやすくなります。

おやつ作り・英会話・竹トンボ・フラワーアレンジメント・絵がみ・スポーツ全般・・・大人も子供も一緒にチャレンジ！

「地域」の先生

子供たちの成長をみんなで育む

「あっ、〇〇君のおかあさんだ」「パン屋さんのおばさんだ」「犬の散歩で会う〇〇のおじいちゃんだ」「サッカーの上手なおにいちゃんだ」・・・子供たちの歓声が聞こえてきそうです。身近な「地域」の方と関われる安心感や期待感。新たな絆も生まれます。地域の大人、みんなが「先生」です。「顔の見える」地域のみなさんの活動は、放課後の子供を応援するだけでなく、「地域」の大きな「財産」です。

子供たちの笑顔のためにスキルアップしてみませんか？

【H28学校支援コーディネーター研修講座】

1 期

【1日研修】

コーディネーターやボランティアとして、身につけておきたい知識や技術等について学ぶ研修です。5月下旬から6月上旬に県総合教育センターとさわやかちば県民プラザで実施します。

2 期

【半日研修】

各地域で実践されている放課後子供教室の様子を参観することができます。
8月から11月にかけて、5地区を会場に公開が予定されています。

3 期

【1日研修】

講演会、2期で公開された地区の実践発表、スタッフ同士の情報交換など、充実した研修です。

H29. 1. 31 (火)
県総合教育センター

詳細は、県教育委員会のホームページを御覧ください。

ちょっと役立つ、いいはなし！



「互いの安心・安全のために
正しい理論トレーニングを」

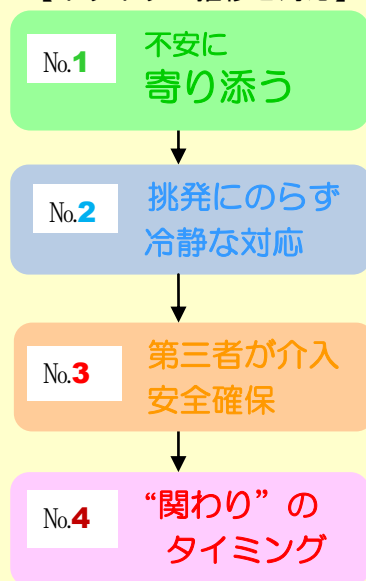
子供たちの安全・安心のために

— 子供との関わり方のポイントを知っておこう

感情のひとつ「イライラ」は、ごく普通のことです。特別なものではありません。大人も、子供も誰にでも生じる、この見えない感情を、理論として可視化し整理することが大切です。そうすることで、共通認識のもと子供と関わるすることができます。

**目の前の子供の様子をしっかりと観察しましょう。
きっと何かに気づくでしょう。**

【イライラの推移と対応】



落ち着きを取り戻してからの関わり方

- 感情的・身体的にコントロールを取り戻せているかを確認する
- 何が起きたのか、当事者の立場で聴く
- どうして、そうなるのかを探る
- 不適切な行動にかわる、選択肢を考える
- 次回にむけて、実行できそうな約束をする
- できる限り励まして、実行を促す

あなたも参加してみませんか？

放課後子供教室での子供たちとの出会いや触れ合いの機会は、必ず私たちを元気にしてくれることでしょう。生涯学習で学んでいる人、特技を持っている人、地域やPTAなどで子供の活動にかかわっている人、学生のみなさん、ぜひ教室にお出かけください。

子供たちはいつも待っています。

問い合わせは、最寄りの実施校または市町村教育委員会にお尋ねください。

市町村担当課連絡先一覧は

[こちら](#)

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shougaku/renkei/houkago/jisshishoukai.html>



【問い合わせ先】 千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 学校・家庭・地域連携室

TEL : 043-223-4167 メール : kysho2@mz.pref.chiba.lg.jp